

平成22年度 第1回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成22年12月3日(金) 午後5時から午後7時

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者: 石塚委員 手塚委員 田附委員
(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

今回から新委員として石塚委員(日本女子体育大学)に参加いただくことになった。

事務局から本年度は学士力実現に必要な ICT 活用の授業モデル案について検討することの説明及び他の委員会の状況などの検討状況の説明がなされた。

検討の視点は

(1) 学士力実現に必要な授業モデルを検討する。

- ・知の上に立って堂々と発言でき、コミュニケーションでき、交渉と説得ができチームでやれる力が求められている。
- ・学士力を身に付け、社会で通用する力を付けさせる授業モデルを検討する。
- ・学士力は大学4年間で身に付ける力として考え、世の中の動向を踏まえて5年先を見据えた授業モデル案を検討する。

(2) 学びを身に付けさせる授業モデルを検討する。

チームやグループでの学びあい、振り返りの学習プロセス、発表・プレゼンを通じた学習成果の社会への発信、ファシリテータの活用、本質的な学びをネットで指導する等の学士力実現に必要な ICT 活用の授業モデルを検討する。

(3) ICTの活用の検討について

あくまで従来のアナログの授業をレベルアップするためのICTの活用として考え、チームやグループでの学びあいの課程、振り返り学習のプロセス、発表・プレゼンを通じた学習成果の社会への発本質的な学びをネットで指導する等バックヤードとしてのICTの活用を考える

2. 体育学での検討について

- ・到達目標2に掲げた「身体運動の効果を体感することにより、心身ともに充実したライフスタイルを送ることができる」を目標とする。
- ・自らが学んだことを他の人に提供することで、他の人が心身ともに充実したライフスタイルを送ることができるよう啓蒙・指導する力が目標であり「専門教育」を対象にする。
- ・「学びを身につけさせること」を目標に、『体育学教育における学士力の考察』の、到達目標にICTをどのように活用すると有効的か、5年先を見据えた授業モデルを検討する。

＜検討内容＞

- (1) 各委員からスポーツ分野において ICT を活用している事例紹介が行われた。
- ・ ICTを使って運動効果を考え、効率を上げる事例。
スマートフォンを使用して競技順、対戦相手を知る
i-pad を使用して競技中にデータ分析
万歩計を使用した健康管理
パーソナルインストラクターによる健康管理
 - ・ スポーツと保健、医療などを総合的に学ぶ予防医学などの事例
 - ・ パーソナルインストラクター、パーソナルトレーナーの事例
- (2) 専門知識を活かして競技力を向上することや、予防医学としての健康な体づくりにデータを分析することで状態を把握、展開ができる。また、自分だけでなく他者にもマネージメントができる。
- (3) これらの事例を踏まえて、「到達目標 2. 身体運動の効果を体感することにより心身ともに充実したライフスタイルを送ることができる」及び「到達目標 3. スポーツ競技に関する知識・技能を修得し、スポーツの振興・普及に活用できる」の授業モデルを検討することにした。
- (4) 検討にあたっては、①双発的な授業デザインで考える ②授業計画はシラバスではなく大まかに 1～3 回は座学、4 から 5 はフィールドワーク、6～7 ではこのような授業のモデルのイメージでまとめる。
- (5) 授業のねらい、授業計画を明確にし、あくまで対面学習を中心にし、ICT の活用は LMS やデータ分析、ディスカッション、ポートフォリオ、ネットを取り入れたグループ学習など、対面学習を裏で支える利用のイメージとする。

2. 次回までの宿題

各委員が授業モデル案を作成する。

到達目標 2. の授業イメージは、次回までに検討する。

到達目標 3. の授業イメージは、次回までに検討する。

3. 次回の開催日程

日時：平成 23 年 1 月 24 日(月) 午後 3 時 30 分から午後 5 時 30 分

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室